

総合的な学習の時間 福祉体験 「手話」の学習（7講座中の2つ）

横須賀市立久里浜中学校



単元（題材）目標

- 福祉学習を通して、様々な人と意欲的・自主的に関わる機会から、他者を思いやる心を育てる。
- 福祉体験と講話を通し、「福祉」に対する関心を高め、実際に見聞きし、体験することで、自分にできることを考え、誰もが住みよい社会を考える機会とする。

（1）実施時期

11月11日（水）・12日（木）

（2）対象（学年等・人数）

- 第1学年 ① 80名（40名×2講座）
- ② 40名（40名×1講座）



（3）指導者（教諭・外部講師等）

- ① 本校教諭 2名・外部講師 2名
- ② 本校教諭 1名・神奈川県立明光高等学校教諭 1名

（4）実施内容

- ① 手話の学習：本校教室で手話実践
 - ・講師1名（聴覚障がいの方）、ボランティア1名、本校教諭2名
 - ・簡単な会話（あいさつ、自分の名前等）
 - ・手話における拍手の仕方
- ② 手話の学習・明光高等学校で手話実践
 - ・明光高等学校教諭（聴覚障がいの教諭）、本校教諭1名
 - ・簡単な会話（あいさつ、自分の名前等、道案内）
 - ・気持ちの表し方

（5）成果

- 聴覚障がいの方に講師をしていただいたため、手話に関する基本的な知識や聴覚障がいの方に対する理解を深めることができた。
- 手話に興味を持ち、手話で簡単なあいさつや単語、自分の名前を伝えられるようになった。

〈生徒感想 一部抜粋〉

- 最初に手話の意味、何のために誰のために使うのかを教わった。たくさんの種類の手話を知った。福祉に興味があるから明光高校に行きたい。手話をできるようになりたい。
- 日常で使えるような「ありがとう」や「どういたしまして」を教えてもらったので、時々使うようにして忘れないようにしたいです。そして手話を家族や友達にも伝えて、みんなで手話ができるようにしたいです。
- 今回、初めて耳の聞こえない方に実際会って、いろいろなことがわかりました。表情一つで相手はどう思うかは違うので、人と接する時は表情に気をつけたいと思いました。